

放課後児童クラブの対 象を4年生に引き上げ る場合の課題について



久松 猛 議員

質問 厳しい経済情勢の下で、旺盛になる中で、共働き家庭が増えており、4年生までの対象拡大が必要と思うが、見解を伺います。

部長 放課後児童クラブの現況は、18の小学校で32クラブを開所し、本年2月現在、1〜3年生の約30%、1千114人が入所している。

国のガイドラインで、子どもが生活するスペースとして適正規模を充たすのは、21クラブで、基準を下回る11クラブについて、順次整備を図ってまいりたい。

地区長連合会や保護者からの要望を受け、本年度夏休み期間中の4年生の受け入れを実施したところであり、来年度も継続してまいりたいと考えている。

現時点で4年生の通年受け入れは、課題があり、対応し

がたい状況だが、昨年8月、国において、子ども・子育て関連3法が成立し、児童福祉法が改正され、対象が小学校就学児童に改められたことから、市においても法施行が予定されている平成27年4月に合せ、対象学年の拡充について、具体的な検討や準備を進めてまいりたい。

(掲載以外の質問事項)
・政府の生活保護引き下げ計画について
・地域の元気臨時交付金による小中学校の耐震補強計画

働く親にとって極めて重要 なセーフティーである病児 保育の環境整備について



柏村 忠志 議員

質問 病児保育を立ち上げるための人材育成や、保育所への病児保育の運営費支援等を提案するが、行政の対策について伺います。

保健部長 国が示す保育対策等促進事業では、病院等の専用スペースで一時的に保育する病児対応型、病後児対応型、

保育所等で保健的な対応を図る体調不良児対応型、自宅で保育する非施設型の4つの分類があり、本市では、ファミリーサポート事業を活用した病後児保育を実施している。

提案の保育所でのモデル事業の件は、専門職の配置や保育スペースの確保、医療機関との連携を図るためのネットワークの構築など様々な課題がある。また、病児保育専門士の育成の支援についても、日本病児保育協会と全国病児保育協議会において、来年度から新たに育成講座が開催されることから、併せて検討してまいりたい。

来年度、子ども・子育て支援事業計画策定のためのニーズ調査を予定しており、この中で子育て中の保護者の病児保育に関する調査を実施した

いと考えている。
(掲載以外の質問事項)
・「沖繩は日本の何なのか」の議論について。

・寒くても女子中学生の制服はスカートだけなのか。



違法薬物と類似し、非常に危 険な脱法ハーブから未成年 者と地域を守る取組について



篠塚 昌毅 議員

質問 脱法ハーブは、法の規制から外れているが、重篤な健康被害を引き起こす恐れがあることから、その危険性や知識の周知方法について伺います。

保健部長 県では、保健所や精神保健福祉センター等における相談窓口の設置やホームページの啓発、また、毎年、6月26日の国際麻薬乱用撲滅デーに合わせて実施する「626ヤング街頭キャンペーン」や茨城空港でのキャンペーン、高校野球選手権茨城大会期間中の横断幕掲示など、効果の高いイベント等における啓発活動を行っている。

さらに、小学校、中学校、高等学校に対する薬物乱用防止教室の開催など、様々な機会を捉えて啓発活動を行っている。

新聞報道によれば、脱法ハーブ使用の背景には、薬物

の有害性への認識の薄さとモラルの低下があると考えられることから、今後は市のホームページで脱法ハーブなど違法ドラッグの危険性について周知するとともに、県や関係機関、団体と連携し、健康まつりなど各種イベント時において啓発活動等を行う等の検討をしてまいりたい。

(掲載以外の質問事項)
・「つちうらブランド」を推進するための施策について

通学路における緊急合 同点検実施について



平石 勝司 議員

質問 子どもの命を守る安全対策の観点から、本市における通学路の緊急合同点検の実施状況及び今後の具体的な安全対策や整備計画について伺います。

教育長 京都府亀岡市で発生した登校中の児童の列に車が突っ込み、死傷者が出るという事故を契機として、昨年5月30日、文部科学省、国土交